

通し番号	4650
------	------

分類番号	25-1A-12-03
------	-------------

大麦縞萎縮病に強い六条大麦品種‘カシマゴール’が奨励品種になりました	
[要約] 六条大麦‘カシマゴール’は大麦縞萎縮病に強い麦茶用の早生品種である。成熟期中折れが少なく、‘カシマムギ’並の麦茶加工適性を持つ。	
神奈川県農業技術センター・生産技術部・野菜作物研究課	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

本県の麦茶用六条大麦生産地域で栽培されていた‘カシマムギ’は平成19年頃より再発した大麦縞萎縮病により大きな被害を受け、緊急的に大麦縞萎縮病抵抗性品種‘さやかぜ’を導入したが、熟期が遅く、当地域の後作水稲との作業競合が問題となり、熟期の早い品種が要望されていた。そこで農研機構作物研究所が育成した、‘カシマムギ’並の早生で大麦縞萎縮病抵抗性および麦茶加工適性を持つ‘カシマゴール’の本県における特性を調査し、奨励品種化を目指す。

[成果の内容・特徴]

1 ‘カシマゴール’を本県で栽培した場合、その特徴である早生性および大麦縞萎縮病耐病性が発揮される。

2 ‘カシマムギ’と比較した場合の特性は次のとおりである。

(1) 形態的特性

稈長は5cm程度短く、耐倒伏性は強い。成熟期中折れが少なく、収穫の作業性は優れる。穂長は同等で穂数はやや少ない(表1)。葉色は淡い(データ省略)。

(2) 生態的特性

出穂期、熟期はほぼ同等の早生品種である(表2)。子実重はやや低い(表3)。平成19年頃から県内の麦茶用六条大麦生産地域で問題となった大麦縞萎縮病への耐病性は「極強」である。赤かび病に対する耐病性は‘カシマムギ’よりやや強いが「やや弱」である(表1)。

(3) 品質特性

千粒重はやや小さく、容積重はやや大きい。外観品質はほぼ同程度である(表3)。育成地、茨城県における麦茶加工適性調査の結果では同等との評価をされている。本県産の‘カシマゴール’の麦茶官能評価の結果では、色はやや濃く、味・香りはやや弱い、総合的には同等との評価であった(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1 生育期間を通じて葉色が淡いので、追肥は多肥にならないように注意する。

2 赤かび病への耐病性はやや弱いので、防除は必須である。特に開花期の高温、降雨が予想される場合は、注意を要する。

[具体的データ]

表1 育成地(作物研究所)における特性概要

品種名	株の開閉	耐倒伏性	脱粒難易	秋播性	耐病性			
					赤さび病	うどんこ病	赤かび病	大麦縞萎縮病
カシマゴール	中	強	中	I	-	強	やや弱	極強
(参) さやかぜ	中	強	中	I	-	中	やや弱	極強
(標) カシマムギ	中	やや強	中	I~II	やや強	-	弱	中

(育成地成績より抜粋)

表2 生育調査結果(平成22~25年産)

品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)
カシマゴール	4.9	5.24	71.9	4.1	420
(参) さやかぜ	4.16	5.28	78.9	3.9	410
(標) カシマムギ	4.10	5.23	76.5	4.1	431

表3 収量及び品質調査結果(平成22~25年産)

品種名	子実重 (kg/10a)	子実重対 照比(%)	容積重 (g/l)	千粒重 (g)	外観 品質	原麦蛋白質 含量(%)
カシマゴール	351	83	651	31.9	3.3	9.2
(参) さやかぜ	469	111	664	32.2	3.3	9.4
(標) カシマムギ	422	100	644	32.9	3.5	9.4

外観品質は1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

原麦蛋白質含量は平成24~25年産の所内試験産物の平均値

表4 ‘カシマゴール’の加工適性評価成績

香り	色	甘み	コク	苦み	総合
2.7	3.4	2.7	2.8	3.1	2.9

平成25年産産物に対して、平成25年11月20日に20~60代の男女25名に対して実施。

値は‘カシマムギ’を標準(3)とした相対値。香り、甘み、コク、苦みは1(弱)~5(強)、色は1(薄)~5(濃)、総合評価は1(悪)~5(良)。

[資料名] 平成22~25年度神奈川県農業技術センター試験研究成績書(作物)

[研究課題名] 麦類奨励品種決定調査

[研究期間] 平成22~25年度

[研究者担当名] 三好理、久保深雪、辻本渉